

「超上流工程における要求分析への科学的アプローチ」研究会

第5回勉強会のご案内

2016年1月16日

情報システム学会同上研究会発

1. 日時：2016年2月15日（月）午後2時～午後5時

2. 場所：株式会社プライド会議室

■場所

株式会社プライド 新オフィス

★以下の住所に移転しました。

東京都千代田五番町12番地1

番町会館3F

TEL：03-3239-5431（移転前と同じ）

FAX：03-3239-5432（移転前と同じ）

■アクセス

<http://www.naska.co.jp/access/>

JR四ツ谷、JR市ヶ谷から共に徒歩5分

3階エレベータ前の株式会社インフォメーション・ディベロプメント社総合受付 左手奥「303会議室」です。

3. 発表

第5回は、本学会の新情報システム学体系調査研究委員会の取り組み成果を取り上げます。そのあと懇親会（有志）となります。

講師：新情報システム学体系調査研究委員長 伊藤重隆氏ほか

タイトル

「情報システムの科学と技術・新情報システム学<体系化本論>への構想を語る！」

情報システム産業は、いまだに専門家の間で共通認識された親学問（情報システム学の体系）をもっていません。このため、小中高・大学を通じて適切な情報教育・情報システム教育ができず、120万人にも膨らんだ情報システム産業は労働集約的との批判を受け続けています。工業社会で5年間キープしていた国際競争力世界一の座から、情報社会の深化とともに、日本が30位にまで転落した大きな原因にもなっています。

この問題を解決するため、情報システム学会では、情報システム学の体系化プロジェクトを進めていて、2014年春、『新情報システム学序説』を公刊しました。

『序説』は、第1部で情報システムの科学、第2部で情報システムの技術、第3部で教育体系等を取り扱っています。画期的な体系ができ上がりつつあり、『序説』に続いて、現在『本論』（仮称）の開発を進めています。『本論』では、第1部の概念にもとづいて第2部の概念を形成し、科学と技術の体系から教育体系を導き、三者の整合性をさらに高めていく計画です。

2月15日の研究会では、第1部の考え方をもとに、体系化プロジェクトとして、現時点第2部をどのように構想しているかお話しするとともに、豊富な知見を有する皆様から忌憚のないご意見を頂き、さらに優れた体系にしていきたいと考えております。情報システムの技術体系に関心をもつ、たくさんの方々のご出席を期待しています。

参加費：無料

★研究会の後、有志により懇親会を催します（費用は実費）。

研究会の参加希望の方は以下のメールアドレスにメールをください。

nakanishi-m@nagoya-ku.ac.jp 中西昌武（名古屋経済大学）宛て

以上